

平成27年度 事業計画書

＜実施計画＞

※過去の実績も踏まえた計画策定のため、参考として平成27年度以前の実績・データ等を掲載しております。

社会福祉法人 恵庭市社会福祉協議会

平成 27 年度事業計画について

1. 事業方針

少子高齢化が急速に進行し、人口減少、核家族化、単身高齢者の増加や従来の福祉・生活課題に加えて、昨今の経済状況及び雇用情勢の悪化による経済的困窮や引きこもり、孤立、虐待、権利擁護など、支援を必要とする人々が多様化してきています。

こうしたことを踏まえ、社協は、地域福祉を推進する中核的な団体として、地域住民が安心して暮らせるセーフティネットの構築と、法律や制度の狭間で生じる福祉の課題に積極的に取り組んでいく姿勢が求められています。

それは、日々の暮らしの中で、家族、隣人、地域などの人々の助け合い・支え合いの仕組みの再構築など、社会的孤立を防ぎ、住み慣れた地域での暮らしを支えていくことです。

こうした状況を踏まえ、現行計画の最終年を迎える平成 27 年度においては、地域の課題を、地域で考え、みんなで解決するための総合的な相談を受けとめるための体制及び地域における総合的な権利擁護体制の構築を進めていきます。

さらに、生活困窮者支援制度の創設に伴い、社協が担うべき役割を明らかにし、また、災害に備えた取り組みの推進、そして、社会的孤立を防ぎ、住み慣れた地域での暮らしを支えるための見守り活動、ふれあいサロン事業などの推進を図ります。

また、次期計画の見直しに向け、市民、行政、地域における関係機関団体（町内会・自治会、民生児童委員等）、社会福祉関係施設・者及びボランティアなどとの連携協働を一層強化しながら、現行計画の総仕上げとして未来につながる社協づくりを推し進めることを基本方針に、それぞれの事業を推進して参ります。

2. 計画の体系図

重点推進項目

実践項目・事業名

基本目標「ともに支えあう、安心・安全・福祉のまちづくり」

【個別目標1】

地域と協働して支えあいのまちづくりを推進します

(1) 小地域ネットワーク活動の推進

・小地域支えあい指定事業
・小地域支えあいバックアップ事業
・小地域支えあい交通費支援事業
・ふれあい交流会助成事業
・年末年始ふれあい支援事業
・安心安全福祉のまちづくり研修会の開催

(2) ふれあいサロン事業の充実

・ふれあいサロン事業
・サロン団体交流会の開催

(3) 社会福祉功労者等の顕彰・ふれあい福祉まつりの開催

・社会福祉功労者等の顕彰、ふれあい福祉まつりの開催

【個別目標2】

ボランティア活動に参加しやすい環境をつくりまします

(1) ボランティアセンターの運営

・ボランティアの相談、需給調整
・ボランティアコーディネーター配置の検討
・ボランティア団体への助成

(2) ボランティア活動のきっかけづくり

・アシスタントボランティアの配置
・個人、団体ボランティア登録の推進
・ボランティア研修会の開催
・ボランティア団体交流会の開催
・災害ボランティア体制の検討

(3) 児童生徒のボランティア活動の充実

・ボランティア体験プログラムの実施
・ボランティア活動の手引き作成
・学校におけるボランティア活動、福祉教育の支援

【個別目標3】

身近で困ったときに頼りになる社協を目指します

(1) 情報提供の工夫と充実

・社協事業の情報提供
・出前講座の実施

(2) 権利擁護の推進

・日常生活自立支援事業
・法人後見事業の検討

(3) 生活困窮者への支援

・生活福祉資金貸付事業(道社協)
・生活資金貸付事業
・緊急的な食料援助の実施

(4) 相談体制の充実

・心配ごと相談の実施
・法律相談の実施
・行政相談の実施

【個別目標4】

安心して在宅で暮らせるサービスを提供します

(1) 各種福祉サービス事業の推進

・恵庭市高齢者等外出支援サービス事業
・福祉車両貸出事業
・福祉用具貸出事業
・住民参加型在宅福祉サービス「助っ人えにわ」
・歳末見舞金交付事業
・歳末大掃除サービス事業
・新しいサービスについての調査研究
・在宅高齢者等配食サービス事業
・ひとり暮らし高齢者訪問サービス事業
・家族介護用品支給事業、利用台帳の整備
・ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム事業
・家族介護者介護職員初任者研修受講支援事業
・寝たきり高齢者等布団丸洗い・乾燥・消毒サービス事業
・徘徊高齢者位置検知システム端末機給付事業
・寝たきり高齢者等訪問理美容サービス事業
・寝たきり高齢者等日常生活用具給付事業
・単身老人福祉電話貸与事業

(2) 介護保険サービス等の充実

・訪問介護事業、居宅介護支援事業の実施
・障害者自立支援法の行動援護

【個別目標5】

地域福祉を進める体制を強化します

(1) 計画の推進と管理

・地域福祉実践計画の進行管理と評価

(2) 組織体制の強化

・理事会等の開催
・外部監査の実施
・行政や各関係機関、福祉団体との連携
・愛情銀行の運営と周知
・社協会費への理解と協力依頼、自主財源の確保
・共同募金活動への協力

3. 実施計画

【個別目標1】 地域と協働して支えあいのまちづくりを推進します

重点推進項目	事業内容	事業区分	方向性	H25実績	H26実績	H27計画	特記事項
(1)小地域ネットワーク活動の推進	・小地域支えあい指定事業 各町内会・自治会を3年間指定し、地域福祉座談会、声かけ訪問、福祉マップづくり、広報事業、活動の仕組みづくり等を進め、活動の定着を図ります。 (助成額30,000円)	自主事業	拡大	・1地区	申請なし	・継続	
	・小地域支えあいバックアップ事業 3年間の指定期間を終了した地区に活動の継続を支援します。 (助成額20,000円)	自主事業	継続	・28地区	・28地区	・継続	
	・小地域支えあい交通費支援事業 各町内会・自治会が行う行事に介護が必要な高齢者、障がいのある方などの送迎を支援します。(助成額10,000円)	自主事業	継続	・22地区	・19地区	・継続	
	・ふれあい交流会助成事業 地域のつながりを目的とした高齢者を含む交流事業を支援します。 (助成額20,000円～80,000円)	自主事業	拡大	・39地区	・36地区	・継続	

重点推進項目	事業内容	事業区分	方向性	H25実績	H26実績	H27計画	特記事項
(2)ふれあいサロン事業の充実	・年末年始ふれあい支援事業 年末・年始(12月～1月)に行う交流事業を支援し、冬期間の交流促進を図ります。(助成額20,000円)	自主事業	継続	・31地区	・32地区	・継続	
	・安心安全福祉のまちづくり研修会の開催 地域で福祉活動に携わる方々を対象に研修会を開催します。(年1回)	自主事業	継続	「小地域活動の担い手を増やそう～つながることで楽になり、愉しくするために～」 講師:北星学園大学 岡田 直人氏	「社協の長期的な計画と地域で求められる役割について」 講師:北海道社会福祉協議会 事務局長 藤田裕行氏	・継続	
	・ふれあいサロン事業 地域で気軽に集う場「ふれあいサロン」事業を実施し、サロン団体の運営を支援します。	自主事業	拡大	・登録団体数 36団体 ・総実施回数 1,250回	・登録団体数 41団体 ・総実施回数 1,395回	・継続	
	・ふれあいサロン団体交流会の開催 地域で気軽に集う場「ふれあいサロン」事業を実施し、サロン団体の運営を支援します。	自主事業	新規・継続	・17団体 ・33名	研修交流会として開催「サロンで生きいき楽しいレクリエーション」 講師:室蘭レクリエーション協会 庄内健司氏	・継続	

重点推進項目	事業内容	事業区分	方向性	H25実績	H26実績	H27計画	特記事項
	・子育てサロンの支援 ふれあいサロン事業に子育て団体も対象とすることについて検討します。	自主事業	新規・検討	-	-	-	
(3)社会福祉功労者等の顕彰・ふれあい福祉まつりの開催	・社会福祉功労者の顕彰、ふれあい福祉まつりの開催 社会福祉協議会、共同募金委員会の共催で地域福祉に貢献のあった団体・個人の顕彰と、社協事業等のPRを兼ねて開催します。	共催事業	継続	・功労者顕彰 45件 ・福祉まつり 500名	平成26年11月8日(土)開催 ・功労者顕彰 26件 ・福祉まつり来場者 500名	・平成27年11月14日(土)開催予定	

【個別目標2】 ボランティア活動に参加しやすい環境をつくります

重点推進項目	事業内容	事業区分	方向性	H25実績	H26実績	H27計画	特記事項
(1) ボランティアセンターの運営	・ボランティア相談、需給調整 ボランティアに関する相談、ボランティアニーズの需給調整を行います。	自主事業	拡大	・福祉施設等での活動 413回／延556人 ・在宅高齢者等への活動 166回／延197人 ・行事、イベント等 17回／延254人 合 計 596回／延1007人	・福祉施設での活動 370回／延481人 ・在宅高齢者等への活動 204回／延230人 ・行事・イベント等 41回／延675人 合 計 624回／延1,395人	・継続	※「いけまぜ夏フェスin えにわ」の開催にあたり、運営ボランティア及びイベント出展ボランティア団体の調整等を全面的に協力した。
	・ボランティアコーディネーター配置の検討 ボランティアコーディネーター(1名)の配置について検討します。	自主事業	新規・継続	・配置なし	・配置なし	・組織体制及び財源面での課題もあり、H27年度の配置は見送ることとしたい。	
	・アシスタントボランティアの配置 アシスタントボランティアを継続して配置し、ボランティアセンターの運営を支援します。	自主事業	継続	・人数 7名 ・配置日数37日 延76名	・人数 6名 ・配置日数 54日 ・延 132名 ・アシスタント養成研修を開催し、3名が登録。	・引き続き配置。また、アシスタントの養成も継続して行うこととしたい。	
	・個人、団体ボランティア登録の推進 ボランティアを募集し、研修会などによりボランティアの養成を図るとともに、ボランティアセンターだよりなどの情報提供を行い、活動費の一部についても支援します。	自主事業	拡大	・個人ボランティア 147名 ・団体ボランティア 56団体	・個人ボランティア 146名 ・団体ボランティア 58団体	・継続	

重点推進項目	事業内容	事業区分	方向性	H25実績	H26実績	H27計画	特記事項
(1) ボランティアセンターの運営	・ボランティア研修会の開催 ボランティアを実践している方、ボランティアに関心のある方等を対象に研修会を開催します。	自主事業	継続	・福祉ボランティア養成研修会 入門講座 20名参加 ・福祉ボランティア養成研修会 傾聴講座 34名参加	※講師の都合により急きょ中止になりました。 28名の申込みがありました。	・継続	
	・ボランティア団体への助成 団体が企画する研修会や会員の活動のためのボランティア保険代等を対象経費として希望する団体に対し助成金を交付します。	自主事業	継続	・28団体	・30団体	・継続	
	・ボランティア団体交流会の開催 ボランティア登録団体間の情報交換の場として交流会を開催します。	自主事業	新規・継続	※平成25年度は福祉会館改修工事のため未実施。	・22名(12団体)	・例年同じ団体の出席。内容について検討し引き続き実施	
	・災害ボランティア体制 災害ボランティアセンター体制の整備を図ります。	協働事業	検討	・インバータ発電機及びポータブルストーブ2台を整備。	・バッテリー、ランタン等を整備。	・引き続き必要備品の検討、購入を行う	
(2) ボランティア活動へのきっかけづくり	・ボランティア体験プログラムの実施 ボランティア活動に参加するきっかけづくりとして、体験プログラムを実施します。	自主事業	継続	・手話コース 8名 ・朗読コース 6名 ・点字コース 6名 ・要約筆記コース 2名 合計 22名	・手話コース 8名 ・朗読コース 4名 ・点字コース 7名 ・要約コース 5名 合計 24名	・コースの増設等も検討しながら継続実施	

重点推進項目	事業内容	事業区分	方向性	H25実績	H26実績	H27計画	特記事項
	・ボランティア活動の手引き作成 ボランティア活動の初心者のために、活動時のマナーや心構え等をまとめた手引きを作成します。	自主事業	新規・実施	・ボランティアの手引きを一部改訂し、わかりやすい手引き作りに努めた。	・ニーズの一覧表と併せて作成。	・わかりやすい手引きづくりに努め、継続発行	
(3)児童生徒のボランティア活動の充実	・学校におけるボランティア活動、福祉教育の支援 各学校でのボランティア活動や地域との交流事業の支援及び、福祉体験への用具の貸出、講師紹介、出前講座等を行います。	自主事業	拡大	・13校 車いす、ガイドヘルプ等の福祉体験や施設訪問等、幼稚園、老人クラブとの交流、リングブル、エコキャップ等の収集活動や校内外美化活動、赤い羽根共同募金運動等。	・13校 車いす、ガイドヘルプ等の福祉体験や施設訪問等、幼稚園、老人クラブとの交流、リングブル等の収集活動や校内外の美化活動、赤い羽根共同募金運動等。	・引き続き実施	

【個別目標3】 身近で困ったときに頼りになる社協を目指します

重点推進項目	事業内容	事業区分	方向性	H25実績	H26実績	H27計画	特記事項
(1)情報提供の工夫と充実	・社協事業の情報提供 社協広報誌を年4回定期的(5月、7月、10月、12月)に発行、ホームページやブログの作成、社協事業紹介冊子を発行するなど社協事業の周知を図ります。	自主事業	拡大	・社協広報誌を年4回発行。 ・社協事業紹介冊子を改定。全世帯へ配布した他、関係機関団体へ送付した。	・社協広報誌を年4回発行した。 ・ホームページやブログにて、社協やその他福祉情報等を、随時提供した。	・社協だよりを年4回発行予定。 必要に応じ、レイアウトを専門のデザイナーに依頼するなど、見やすい広報誌づくりに努める。	
	・出前講座の実施 社協の事業等への理解を得るため、積極的に地域へ出て出前講座を行います。	自主事業	継続	・出前講座 民協4、福祉施設1、学校3、福祉団体1、町内会2 ・学生受入など 中学校2、大学1	・町内会2 ・医療・施設関係者 1 ・民協2 ・中学校3 ・大学1 ・福祉団体2 ・その他1	・積極的な出前講座の実施、及び将来福祉職を目指す学生等の受入を行う。	
(2)権利擁護の推進	・日常生活自立支援事業 道社協と連携・協力し、事業を実施するとともに、事業の周知を図ります。	協力事業	継続	・道社協から一部業務委託を受け、積極的にニーズを繋げるべく、業務を推進。 ・利用者数9名 ・利用終了2名	・道社協より一部業務委託を受け実施。 ・継続利用者数 9名(利用終了3名、新規利用者3名)	・引き続き道社協より一部業務委託を受けて実施する。 ・(仮称)成年後見センター事業の一部としての実施を検討する。	
	・法人後見事業 成年後見制度における法人後見について検討します。	自主事業	新規・検討	・内部研修や検討、先進地視察や監督官庁との協議を行いながら検討。	・恵庭市より法人後見受任についての打診があり、受任に向けて調整中。 ・受任に向けて職員3名が市民後見人養成研修を受講	・(仮称)成年後見センター事業としての実施について検討する。	

重点推進項目	事業内容	事業区分	方向性	H25実績	H26実績	H27計画	特記事項
(3)生活困窮者への支援	・生活福祉資金貸付事業 必要に応じた貸付を行います。	道社協受託事業	継続	・福祉資金2件 ・教育支援資金1件 ・緊急小口資金3件 ・総合支援資金0件	・福祉資金3件 ・教育支援資金2件 ・緊急小口資金2件 ・総合支援資金1件	・相談者の困窮状況により貸付を行なうほか、その他の生活課題について、必要に応じて他機関と連携及び協力し支援を行なう。	
	・生活資金貸付事業 一時的に生活が困難になった方に、生活費の貸付を行います。 (貸付限度額30,000円)	自主事業	継続	・貸付件数 35件	・貸付件数 37件	・相談者の困窮状況により貸付を行なうほか、その他の生活課題について、必要に応じて他機関と連携及び協力し支援を行なう。	
	・緊急的な食糧援助の実施 緊急的に食料確保が必要な方へ食料品の現物支給を行います。	自主事業	検討	・実績 1件	・実績 1件	・相談者の困窮状況により食料援助を行なうほか、必要に応じて他機関と連携及び協力し支援を行なう。	
(4)相談体制の充実	・相談事業の実施 弁護士による法律相談、民生委員による心配ごと相談等の相談事業を実施します。 また、総合相談体制の充実を図ります。	自主事業	拡大	・心配ごと相談 0件 ・法律相談 37件 ・行政相談 12件	・心配ごと相談 1件 ・法律相談 21件 ・行政相談 16件	・市民の悩みごと、困りごとの解決の糸口となるよう引き続き相談窓口を設置します。	

【個別目標4】 安心して在宅で暮らせるサービスを提供します

重点推進項目	事業内容	事業区分	方向性	H25実績	H26実績	H27計画	特記事項
(1)各種福祉サービス事業の推進	・高齢者等外出支援サービス事業 自力での歩行が困難な高齢者、障がい者を対象に、車いす対応の自動車による外出支援サービスを実施	補助事業	新規	・利用登録者 149名 ・新規登録者 10名 ・延べ件数 1851件 ・延べ人数 604名 (利用内容) ・病院利用 1789件 ・手続き等 62件	・利用登録者 164名 ・新規登録者 34名 ・述べ件数 1,913件 ・述べ人数 611件 (利用内容) ・病院利用 1,839件 ・手続き等 74件	・引き続き安全運行を徹底し、安定したサービス提供に努める。	
	・福祉車両貸出事業 車いすでの乗降が可能な福祉車両を貸出し、外出支援や社会参加の促進を図ります。	自主事業	継続	・貸出件数 11件 ・貸出日数 39日 ・利用人数 6名	・貸出件数 24件 ・貸出日 62日 ・利用人数 7名	・引き続き利用周知を行いながら実施する。	
	・福祉用具貸出事業 寄贈された車いすや電動ベッドなどの福祉用具を活用し、必要とする方へ無料で貸出します。	自主事業	継続	・車いす 130件 ・電動ベッド 9件 ・ポータブルトイレ33件 ・シルバーカー 8件 ・歩行器 4件 ・シャワーチェア 5件	・車いす 137件 ・電動ベッド 8件 ・ポータブルトイレ27件 ・シルバーカー 2件 ・歩行器 9件 ・その他 21件	・引き続き利用周知を行いながら実施する。	
	・在宅高齢者等配食サービス事業 高齢、虚弱または身体の障がいなどにより調理のできない高齢者世帯等に夕食弁当を配達するとともに安否確認を行う。	補助事業	継続	・利用登録者 209名 ・新規利用者 51名 ・提供食数 25,617食	・利用登録者 224名 ・新規利用者 53名 ・提供食数 20,597食	・引き続き安否確認を徹底し、見守りの効果を高めていく ・市、委託先との協議を行いながら事業のあり方を検討する。	

重点推進項目	事業内容	事業区分	方向性	H25実績	H26実績	H27計画	特記事項
(1)各種福祉サービス事業の推進	・ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム事業 急病など突発的な事態が発生した時に迅速かつ適切な対応をとることや、定期的な安否確認の確認、健康相談への対応など、24時間いつでも緊急通報のできる携帯端末を貸出し、ひとり暮らし高齢者等の生活不安を解消し、人命の安全確保を図ります。	補助事業	継続	・利用登録者 262名 ・新規登録者 81名 ・総受報件数 1,525件うち、正報35件。 ・利用登録者へは毎月1回安否確認電話を実施。	・利用登録者 292名 ・新規登録者 68名 ・総受報件数 2,207件うち、正報26件 ・利用登録者へは毎月1回安否確認電話を実施。	・引き続き利用希望者の訪問調査を実施し、関係機関と連携しながら事業を進める。	
	・家族介護者介護用品支給事業 在宅で常時介護を必要とする概ね65歳以上のねたきり高齢者などに身体に障がいのある方がいる世帯を対象に紙おむつ等の介護用品を宅配で支給し、介護負担の軽減を図ります。	補助事業	継続	・利用登録者 25名 ・新規登録者 6名 ・総支給金額 1,261,521円(毎月20～21名へ支給)	・利用登録者 37名 ・新規登録者 17名 ・総支給金額 1,526,293円(毎月約23名へ支給)	・引き続き利用希望者の訪問調査を実施し、関係機関と連携しながら事業を進める。	
	・ひとり暮らし高齢者訪問サービス事業 1週間に1本の乳製品の配達と、1か月に1回の自宅訪問及び1週間に2回の電話により、ひとり暮らし高齢者の孤独感解消を図り、利用する方の体調を含めた日常生活を把握、安否の確認を行います。	補助事業	継続	・利用登録者 6名 ・新規登録者 2名 ・電話回数 257回 ・訪問回数 17回 ・乳製品配布 318本	・利用登録者 7名 ・新規登録者 2名 ・電話回数 444回 ・訪問回数 37回 ・乳製品配布 274本	・引き続き利用希望者の訪問調査を実施し、関係機関と連携しながら事業を進める。	
	・寝たきり高齢者等訪問理美容サービス事業 在宅の寝たきり高齢者等を対象に、ご自宅を訪問して訪問理美容のサービスを行い、保健衛生や福祉の向上を図ります。	補助事業	継続	・利用登録者 18名 ・新規利用者 9名 ・合計44回の利用	・利用登録者 27名 ・新規利用者 13名 ・合計62回の利用	・引き続き利用希望者の訪問調査を実施し、関係機関と連携しながら事業を進める。	

重点推進項目	事業内容	事業区分	方向性	H25実績	H26実績	H27計画	特記事項
(1)各種福祉サービス事業の推進	・寝たきり高齢者等布団丸洗い・乾燥・消毒サービス事業 在宅の寝たきり高齢者等を対象に、寝具の丸洗い、乾燥及び消毒のサービスを提供することで、衛生的で快適な在宅生活の援助を行います。	補助事業	継続	・利用登録者 4名 ・新規登録者 3名 3回の利用。	・利用登録者 2名 ・新規登録者 1名 2回の利用。	・引き続き利用希望者の訪問調査を実施し、関係機関と連携しながら事業を進める。	
	・寝たきり高齢者等日常生活用具給付事業 ひとり暮らし高齢者等を対象に、日常生活用具(火災報知器、自動消火器、電磁調理器)を給付することにより、日常生活の便宜を図り、自立生活の支援を行います。	補助事業	継続	・利用者 1名 ・電磁調理器給付	・利用者 0名	・引き続き利用周知を行いながら実施する。	
	単身高齢者福祉電話貸与事業 ひとり暮らし高齢者世帯を対象に電話の貸与を行い、電話による安否確認及び各種の相談を行うことによって在宅生活の支援を行います。	補助事業	継続	・利用登録者 1名 ・新規利用者 0名 ※2名が利用中止	・利用登録者 1名 ・新規利用者 0名	・引き続き利用周知を行いながら実施する。	
	徘徊高齢者位置検索システム端末機給付事業 徘徊のみられる認知症の高齢者を介護している世帯を対象に、徘徊した場合、その居場所を発見できる端末機を給付し、早期発見と安全確保を図っています。	補助事業	継続	・利用登録者 1名 ・新規利用者 0名	・利用登録者 1名 ・新規利用者 0名	・引き続き利用周知を行いながら実施する。	

重点推進項目	事業内容	事業区分	方向性	H25実績	H26実績	H27計画	特記事項
(1)各種福祉サービス事業の推進	家族介護者介護職員初任者研修受講支援事業 現に高齢者を介護している家族又は、介護していた家族が家族介護の経験を活かしてホームヘルパーとして社会で活躍することを支援するため、介護職員初任者研修を受講した場合に受講料の一部の助成を行っています。	補助事業	継続	・利用者 0名	・利用者 0名	・引き続き利用周知を行いながら実施する。	
	利用者台帳の整備強化 各事業ごとに整備している利用者台帳を集約・整備し、速やかに情報収集できる体制を構築します。	自主事業	新規検討		・現在利用者台帳検索システムを業者委託にて作成、運用を開始した。	・委託業者と調整しながら効率よい運用をすすめる。	
	地域包括支援センターとの連携強化 各種在宅福祉サービスを推進するにあたり、全市的に高齢者の総合相談を展開している地域包括センターと定期的に事業のあり方を検討します。	自主事業	新規検討		・たよれーるみなみとの情報交換会(9月29日実施) ・たよれーるきたとの情報交換会(9月30日実施) ・たよれーるきたとの情報交換会(10月3日実施)	・継続して事業のあり方についての協議を行う。	
	・住民参加型在宅福祉サービス「助っ人えにわ」 介護福祉士などの資格を持つ方が有料で福祉活動を行います。	自主事業	継続	・利用者 40名 ・協力会員 31名 ・派遣時間124時間45分	・利用者 13名 ・協力会員 14名 ・派遣時間69時間00分	・継続実施	

重点推進項目	事業内容	事業区分	方向性	H25実績	H26実績	H27計画	特記事項
(1)各種福祉サービス事業の推進	・歳末見舞金交付事業 民生委員を通して低所得世帯等の支援が必要な方々を把握し、見舞金を交付します。	自主事業	継続	・低所得世帯 42件 ・低所得高齢世帯78件 ・寝たきり認知症世帯9件 ・難病世帯81件 ・障がい世帯 180件 合 計 390件 1,950,000円	・低所得世帯 42件 ・低所得高齢世帯82件 ・寝たきり認知症世帯7件 ・難病世帯77件 ・障がい世帯 166件 合 計 374件 1,870,000円	・継続実施	
	・歳末大掃除サービス事業 年末に、身体的・経済的に大掃除が困難な高齢者世帯等の大掃除を無料で行います。	自主事業	拡大	・37世帯に実施。	・42世帯に実施	・継続実施	
	・新しいサービスについての調査研究 社協として時代に即応したサービスを行うため、関係団体等に調査を実施します。	協働事業	新規・検討	—	—	—	
(2)介護保険サービス等の充実	・訪問介護事業等、 居宅介護支援事業 在宅生活を支援するホームヘルプサービス、利用者本位のケアマネジメントを実施します。	自主事業	継続	・訪問介護 (年間訪問回数12,862回、年間訪問時間14,486.5時間、月平均利用者104名) ・居宅介護支援 (月平均利用者54名)	・訪問介護 (年間訪問回数11,208回、年間訪問時間10,630時間、月平均利用者102名) ・居宅介護支援 (月平均利用者54名)	・平成27年度介護保険制度改正に対応する事業展開を行う。	
	・障害者自立支援法の行動援護の検討 知的障がい者・精神障がい者の外出介助を検討します。	自主事業	新規・継続	・行動援護の実績は無いが、市内には本会以外に行動援護実施事業所は無いので、依頼が発生した際には迅速に対応。	・行動援護 平成26年4月より1名実施。(年間訪問回数148回、年間訪問時間130.5時間)	・引き続き行動援護を実施するなかで関係機関へサービスの周知をはかる。	

【個別目標5】 地域福祉を進める体制を強化します

重点推進項目	事業内容	事業区分	方向性	H25実績	H26実績	H27計画	特記事項
(1)計画の推進と管理	・地域福祉実践計画の進行管理と評価 地域福祉実践計画の進行管理と評価を行います。	自主事業	継続	・評価委員会 2回	・評価委員会 2回	・継続	
(2)組織体制の強化	・理事会等の開催 必要に応じて理事会等を開催し、適切な運営を行っていきます。	自主事業	継続	・理事会5回 ・評議員会3回 ・部会6回 ・監査4回 ・三役部会長会議8回 ・社協全体会議1回 ・VC運営委員会2回	・理事会4回 ・評議員会4回 ・部会8回 ・監査4回 ・三役部会長会議7回 ・社協全体会議1回 ・VC運営委員会2回	・必要に応じ、各種会議等を実施する。	※VC(ボランティアセンター)運営委員会
	・外部監査の実施 会計の透明性を高めるために、外部による監査を実施します。	自主事業	継続	・実施	・会計事務所による監査を年5回実施した。	・2ヶ月に1度会計事務所による監査を実施する。	
	・行政や各関係機関、福祉団体との連携 行政、関係機関、ボランティア団体、福祉団体等と連携し、地域福祉事業を行います。	自主事業	継続	・継続	・継続	・継続	

重点推進項目	事業内容	事業区分	方向性	H25実績	H26実績	H27計画	特記事項
(2)組織体制の強化	・愛情銀行の運営と周知 寄付金の受け入れや、物品の預託等を積極的に行います。	自主事業	継続	・香典返し 205件 3,324,900円 ・窓口寄付 81件 1,345,115円 ・カレンダーリサイクル 147,902円	・香典返し 178件 2,971,000円 ・窓口寄付 129件 計2,072,384円 ・カレンダーリサイクル 149,203円	(予算額) ・香典返し 2,800,000円 ・窓口寄付 2,000,000円(カレンダーリサイクル市含め)	
	・社協会費への理解と協力依頼、自主財源の確保 社協の事業や会費についての理解と協力についての働きかけを継続して行うと同時に、継続して新たな財源の確保について調査、検討します。	自主事業	継続	・一般会費 2,981,795円 15,081件 ・特別賛助会費 1,467,000円 156件 ・賛助会費 297,000円 189件 ・特別会費 186,500円 81件	・一般会費 2,819,780円 14,007件 ・特別賛助会費 1,382,000円 123件 ・賛助会費 229,500円 154件 ・特別会費 187,600円 80件 計4,618,880円	・引き続き社協会費への理解を求めるため市民へ働きかけを行います。 (予算額)・一般会費 2,980,000円 ・特別賛助会費 1,410,000円 ・賛助会費 300,000円 ・特別会費 180,000円	
	・共同募金活動への協力 共同募金運動に積極的に協力します。	自主事業	継続	・ふれあい福祉まつりとの共催、福祉会館に共募ガチャガチャの設置など、様々な面で連携・協力を行った。	・ふれあい福祉まつりとの共催、福祉会館に共募ガチャガチャの設置など、様々な面で連携・協力を行った。	・引き続き、ふれあい福祉まつりとの共催及び福祉会館に共募ガチャガチャの設置など、様々な面で連携・協力を行う。	